

6/6(日)まで春の企画展を開催しています



春の企画展

牡丹、咲き誇る

牡丹を詠んだ作品たち 開催

第4号
令和3年5月号



須賀川の牡丹を詠んだ当館の収蔵品や
個人蔵作品から、選りすぐりの作品、
およそ40点を展示しています。

【主な展示作品】

白牡丹といふといへども紅ほのか 高浜虚子
黒牡丹くづほる黒のすべもなし 原コウ子
牡丹の幻立ちぬ牡丹園 原 裕
大牡丹夕べの花弁たゝみ来し 矢部楯郎
雨の牡丹ぼたんの話ぬれて聴く 高久田橙子

(個人蔵)

句幅 夜の牡丹落花踏まじとして立てり 石鼎



牡丹園建立句碑は夫人の原コウ子の筆字です。
原石鼎(1886-1951)

句幅 日を包む雲に光りや牡丹園 石鼎 (個人蔵)

牡丹

牡丹はその豊麗な

大輪の花から

「百花の王」「花神」

ともいわれ、古くより

人々に愛されて

きました。



展示品の紹介



句幅 なんといふ風が牡丹にのみ吹きて 綾子

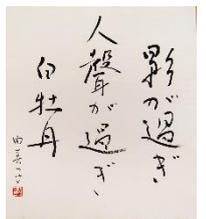
■細見綾子 1907年、兵庫県生。
日本を代表する女流俳人。12歳年下の俳人・沢木欣一と結婚。牡丹を詠んだ句は百七句に及ぶとあります。

／ポスター／



俳人・鈴木真砂女

咲き誇る白牡丹の顔を女性達が賑やかに通り過ぎていきます。彼女達の声と影は一瞬、白牡丹の上に留められますが、すぐに消えてしまいます。白という色の本質を映した見事な一句です。



影が過ぎ
人聲が過ぎ
白牡丹
由美子

ワークショップ

5/4 (火)

牡丹の行灯づくり

むかしの糸巻きを使って行灯づくりをしました。和紙に牡丹の切り絵をはったり、絵をかいたり、紙をちぎったり、想像力あふれる素敵な行灯づくりを楽しんでいました。





すかがわ大人塾 5月

第一回 墨を遊ぶ



5/14 (金)



すかがわ大人塾
(和ごと)を学び、
日常を愉しむおとな
のための教室です。

講師 鈴木傾樹先生
(NHK文化センター郡山教室水墨画教室講師)

墨に親しみ、書くことを
楽しんでもらう講座です。
墨のすり方、筆のおろし方を学
び、好きな言葉、大切な言葉を
心のおもむくままに自由に書
きました。
次回5/28は「墨で描く」



見学学習



和室のしつらえについて

4/26 (月)

須賀川市立第三小学
校6年生がまちを散
策したあと、施設見学
をしました。



芭蕉と須賀川について



床の間は、和室の中で
最も神聖で大切な場所
です。季節の花をいけ、
おもてなしの空間で
あることを学びます。

■学びの場所として、さまざまな学習のご提案をいたします。

床の間、畳、障子、襖な
どの役割とその良さに
ついて学びました。



お知らせ

6月の
テーマ展

6/7 (月)
～7/19(月)

「おくのほそ道」

「梅雨」

風流の

民話館

7/17(土)
10:30～

第1回

第2回

・俳句教室
・夏の夜の
こわーい昔会

こども
和文化塾

夏休み
期間



言の葉

うなみ
卯波

卯の花が咲くころに
海に立つ
白波のことです。

ぼうしゆ
芒種

稲や麦など
穂がでる植物の
種をまくころです。

べにばなさか
七十二候
紅花栄う

五月二十六日ごろ～三十一日ごろ
紅花の花が咲きほころぶころです。
紅花は染料や口紅になり、
珍重されました。



俳句募集

募集期間 通年
選句会 年2回(8月 2月)
部門 一般の部・子どもの部
学校の部

ホームページを
開設しました。
施設の紹介をはじめ、
企画展や講座、イベント
情報などを発信しています。
<https://s-furyu.jp/>